

2016年3月期第3四半期 決算説明会Q&A

Q: 今回の下方修正の要因を聞かせてほしい。

T&Mの売上を750億円から700億円に下方修正した。

A: 下方修正(50億円)の地域別内訳は、アジアと北米で25億円ずつ減収。モバイル製造用測定器とネットワーク・インフラの基地局建設・保守用測定器の減収が主な要因となっている。

Q: データセンター向けの測定需要が伸びているとのことだが、その背景は何か？

A: データセンターなどで使用される光モジュールの高速化(40Gbit/s, 100Gbit/sの採用)と、サーバー間・Busなどの信号品質評価需要の増大が背景である。

Q: アンリツにとって、5Gビジネスが4Gを上回るのはいつ頃とみているか？

IoTのイノベーションに求められる5Gは、4Gにアドオンされる形で広がるとみており、5Gは4Gと併存

A: すると考えている。4Gで培ったセルラーの技術力を活かし、5Gのビジネス機会も確実に取り込んでいきたい。

Q: 2016年度以降も、次の成長に向けた投資を進めていく必要があると思うが、R&Dの投資をどのように考えているか？

当社は投資リターンを測定するKPIとして開発ROI*を採用している。KPI目標に基づいてR&D費の効率化を果たすとともに、ポートフォリオを的確に組み替えることで、成長機会を獲得する。

*開発ROI=売上総利益/開発投資額

Q: PQA事業のFY15 Q4の利益水準予想が前年同期と比べ低い理由は？
(FY15 Q4予想――6.2%, FY14 Q4実績――13.4%)

A: 海外売上拡大に向け、北米中心に販売網強化のための投資を計画している。

Q: PQA事業の成長はどのように実現させるのか？

A: 北米を軸とする海外市場での拡大を成長の柱とする。主に販売力や価格競争力を強化するとともに、お客様のニーズに合った総合的な品質管理ソリューションを提供することで海外売上拡大を実現させる。

(注)PQA事業: Products Quality Assurance (従来のセグメント名称 産業機械事業)